

八代市アウトドアツーリズム観光戦略を策定しました

～アウトドア・スタート・シティやつしろ～

本市では、アフターコロナを見据えた新たな観光施策として、豊かな自然、歴史・文化、農水産物等の地域資源を最大限活用したアウトドアツーリズムを構築することを目的に、「八代市アウトドアツーリズム観光戦略」を策定いたしました。

本戦略に基づき、令和5年度以降、下記のような取組を推進してまいります。

1. 策定の趣旨

本市の観光客数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や令和2年7月豪雨の影響等により、減少傾向にありました。一方、全国的にキャンプ・サイクリングなどの「アウトドア」への注目度が高まっています。

このような状況を踏まえ、アフターコロナを見据えた本市の交流人口・関係人口の拡大を図り、本市の豊かな自然と、歴史・文化や農水産物等の地域資源を最大限活用したアウトドアツーリズムを構築するためアウトドアファンによるニーズ調査の結果を踏まえて、「八代市アウトドアツーリズム観光戦略」を策定いたしました。

2. 基本コンセプト

「アウトドア・スタート・シティ やつしろ」

～八代で始める！楽しむ！深める！海・山・川・里でのアウトドア～

アウトドア初心者から上級者まで、アウトドアを気軽かつ安全・快適に楽しめる環境を整備することで国内外からアウトドアファンの誘客を推進し、交流人口・関係人口の拡大による地域の活性化につなげていきます。

3. 戦略における主な取組

- (1) 新たなアウトドア・コンテンツの開発、磨き上げ
 - ・観光事業者や関係団体との連携による球磨川を活用した新たなコンテンツの開発や、八代舟出浮き・無人島ツアーの磨き上げや開発支援など
- (2) アウトドア拠点施設の充実や受入環境の整備
 - ・新八代駅近辺にアウトドア関連情報の発信やキャンプ用品の貸し出し、レンタサイクル機能を持たせた拠点施設の整備など
- (3) アウトドアイベントの開催等によるプロモーション・誘客
 - ・DMO やつしろとの連携による焚火・キャンプイベントの開催及びアウトドアウェブサイトの構築など
- (4) アウトドアツーリズムに係る人材の育成・体制整備
 - ・シトラス観光圏推進協議会におけるアウトドアツーリズム推進専門部会(仮称)の創設など

問合せ 観光・クルーズ振興課 担当：本石・宮崎
 TEL 0965-33-4115

八代市アウトドアツーリズム観光戦略【概要】



1. 戦略策定の背景・目的

- 新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨による観光入込客数の減少
- アウトドアへの注目度の高まり

アフターコロナを見据えた交流人口・関係人口の拡大を図るためのエンジンとなる取組が必要

「アウトドアツーリズム観光戦略」の策定

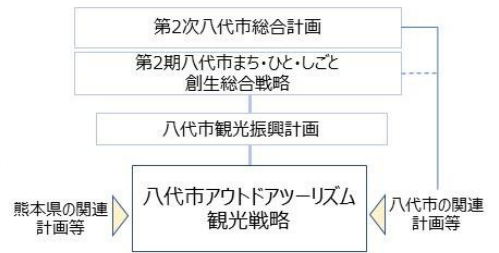
本市の豊かな自然と、歴史・文化や農産物等の地域資源を最大限活用したアウトドアツーリズムを構築

2. 基本コンセプト

アウトドア・スタート・シティ やつしる
～八代で始める！楽しむ！深める！海・山・川・里でのアウトドア～

豊かな自然を活かし、アウトドアに関心を持つ人が、本市で気軽にアウトドアを始めることができ、何度も訪れてアウトドアを楽しむ、価値ある体験として深めることができるまちを目指す。

3. 戦略の位置づけ



4. 基本目標

基本コンセプト アウトドア・スタート・シティ やつしる

ニューノーマルへの対応 観光DXの推進 SDGsの視点による関係人口拡大

基本目標 1

八代独自のアウトドア・コンテンツを創る

1. 新たなアウトドア・コンテンツの開発
2. アウトドア+αの独自コンテンツの開発

基本目標 2

八代で気軽かつ快適にアウトドアができる環境を整える

1. アウトドア拠点施設の充実
2. サイクリング受け入れ環境の充実
3. ワンストップサービスの強化

基本目標 3

八代のアウトドアをPRし、何度も来てもらう

1. アウトドアイベントの開催
2. デジタルを核としたプロモーションの推進
3. 国内外からの誘客の促進

基本目標 4

八代のアウトドアを支える人材と体制を強化する

1. アウトドアツーリズムに係る人材の育成
2. アウトドアツーリズム推進体制の確立

「八代市アウトドアツーリズム観光戦略」の調査概要

八代市の観光を取り巻く現状

◎観光入込客数の動向

- ・ 2015（平成27）年には350万人の観光入込客数 → コロナ禍の影響で減少し、2020（令和2）年は154万人まで落ち込む。
- ・ 2022（令和4）年の県外からの休日の入込客割合は、福岡県（28.9%）、鹿児島県（24.2%）、宮崎県（10.3%）で、上位3県が九州エリア。
- ・ 2020（令和2）年のインバウンドは、対前年比8割減の2000人台まで減速。

アウトドアツーリズムの現状

新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化により、「アウトドア」に対する注目度が高まっている

①アウトドア関連市場の動向分析結果

- ・ アウトドアは自然の中で比較的に「密」を避けられるレジャーとして、コロナ禍を機に、キャンプ、サイクリング人口は増加。
- ・ アウトドア用品等の市場規模は好調に推移しており、今後もこの傾向が続くと予測される。

②八代市のアウトドアツーリズム関連団体等へのヒアリング結果

- ・ 自然を始めとした豊富な地域資源を活かした独自のコンテンツ開発・磨き上げが必要。
- ・ 飲食店・宿泊施設等のサイクルステーションなどのアウトドアファンへの受入環境の整備が必要。
- ・ 八代市及び周辺エリア全体での統一したPRと販促活動が必要。
- ・ アウトドア関連の官民連携の場やアウトドア関連資源・事業者などを結び付ける人材が必要。

③アウトドアファンニーズ調査結果

アウトドアファン（愛好家、経験者、関心層）のアウトドア活動の状況や今後の活動以降、本市及び周辺地域のアウトドア関連資源等に対する関心度等を把握するため、ニーズ調査を実施。

- 調査方法 ・ WEB調査
- 回収数 ・ アウトドアファン（愛好家、関心層）2,400人※4エリア（北部九州・南部九州・近畿圏・首都圏）
- 調査内容 ・ 基本属性 ・ アウトドア活動全般について ・ キャンプ・バーベキューについて ・ サイクリングについて
- ・ 八代市のアウトドア ・ 観光資源について 等

■八代市のアウトドア・観光資源について

- ・ アウトドア関連資源では「五家荘」のキャンプ場、「球磨川（川遊び）」が人気上位。
- ・ 子どもがいるファミリー層が多い35～49歳女性で年収1,500万円以上の高収入層は、全般的に本市アウトドア関連資源へ関心が高い。
- ・ 高収入層は、「焚火・キャンプフェス」「講師付き初心者向けキャンプ体験」「サイクリングイベント」に強い関心を示している。
- ・ アウトドアやその他観光資源の情報を提供した上で八代市への来訪意向は4割が積極的「行ってみたい」と回答。
- ・ 来訪意向が高いのは、アウトドア経験者（3年以内）や20～34歳女性、南部九州居住者、年収1,500万円以上の高収入層。

■サイクリングについて

- ・ サイクリング経験者の6割強が男性、関心層では女性の割合が高まり、男女半致ずつ。
- ・ サイクリング経験者の6割強が2～3か月に1回以上実施。費用は年間1万円未満が主流。約3割は宿泊を伴う形でサイクリングを実施。
- ・ サイクリング未経験者を中心に、ゆっくり気楽なサイクリングや観光スポット周遊型のサイクリングニーズが高い。
- ・ 希望するサイクル実施環境は、「初心者向けサイクリングコース」が6割強と最も高く、次いで「安心・安全なルート」、「レンタサイクル」。
- ・ レンタサイクルは、電動アシスト付きスポーツバイクが最も人気。
- ・ サイクル関連設備として「ルート上の休憩施設」、「ロッカー等が整備された施設」、「宿泊施設・飲食店へのサイクルラック設置」、「手荷物預かり・配達サービス」等のニーズが高い。